

※ 次号 (506号) の発行とWeb更新は8月23日になります。ご了承ください。

ARIBの動き

第52回電波利用懇話会のご案内 「地上デジタル放送の利活用の在り方と普及に向けて 行政の果たすべき役割」

2003年12月に開始された地上デジタル放送は、2011年までの全面移行の確実な実現に向けて、より一層、普及を加速・推進していく必要があります。

そのため、総務省は情報通信審議会（会長：庄山悦彦 株式会社日立製作所 代表執行役 執行役社長）に「地上デジタル放送の利活用の在り方と普及に向けて行政の果たすべき役割」（諮問第8号）を諮問し、平成17年7月29日に、第2次中間答申を受けました。

本中間答申では、デジタル全面移行に向けた重点施策として、公共分野における利活用の推進や「通信・放送融合」の積極活用等による円滑なデジタル全面移行の実現などについて提言が行われています。

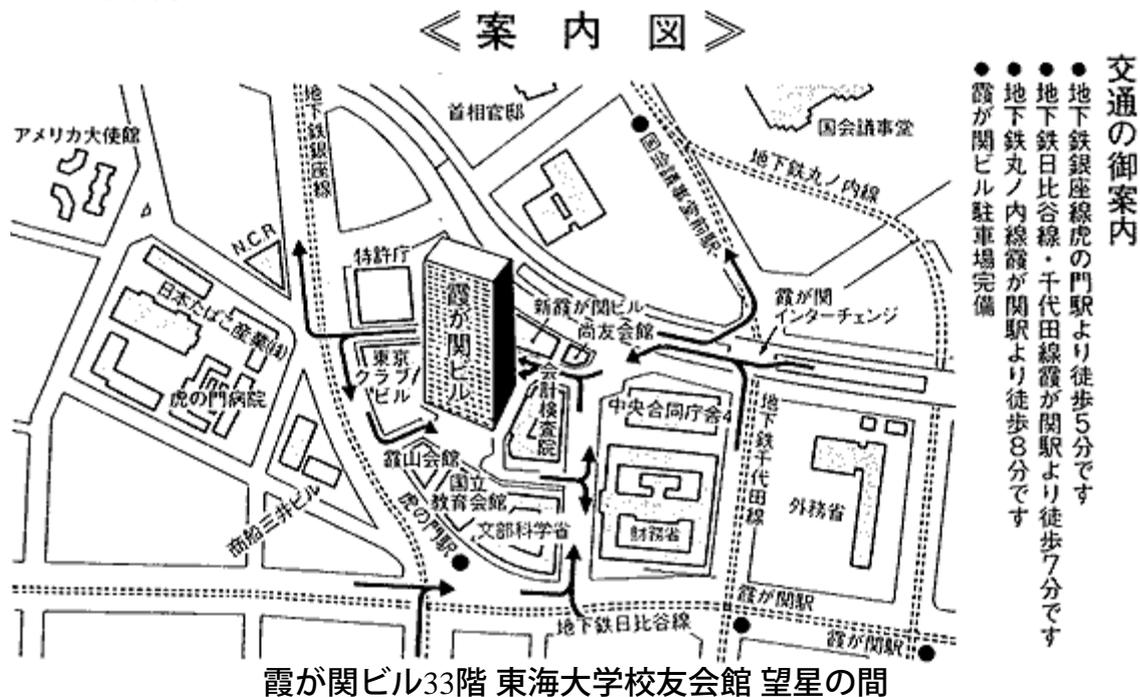
当会では、今後の電波利用の発展に大きく係わる本件について、総務省から講師をお招きして説明していただくこととし、下記により第52回電波利用懇話会を開催することといたしました。

会員の皆様には、ぜひご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時： 平成17年8月29日(月) 午後2時から4時まで
- 2 場所： 東海大学校友会館 望星の間（霞が関ビル33階）
東京都千代田区霞が関3-2-5 TEL:03-3581-0121
- 3 題名： 「地上デジタル放送の利活用の在り方と普及に向けて行政の果たすべき役割」
- 4 講師： 総務省 情報通信政策局 地上放送課
担当官様
- 5 参加者： 120名程度（定員になり次第締め切らせていただきます。）
- 6 申込先： 当会ホームページのセミナー講演会等の申込受付まで。
(<https://www.arib.or.jp/cgi-bin/semi/usr/general.cgi>)
- 7 参加費： 無料

8 会場案内



問い合わせ先：企画国際部 斉藤

TEL:03-5510-8592

FAX:03-3503-2533

第111回技術委員会(放送分野)が開催される

第111回技術委員会が開催されましたので、その概要をお知らせいたします。

1 日時 平成17年7月27日(水) 午後2時から3時55分まで

2 場所 当会第1会議室

3 議事概要

- (1) 品質評価法調査研究会委員長から、品質評価法調査研究会の活動について報告があった。
- (2) 事務局から、7月12日～13日に開催された第2回日中韓デジタル放送・デジタルテレビワーキンググループ会合について報告があった。
- (3) 事務局から、ARIBが事務局を務める任意団体^{*1}の動向について報告があった。
- (4) 事務局から、アナログ周波数変更対策業務について、業務の進捗状況の報告があった。
- (5) 事務局から、当会の平成17年度事業スケジュールの報告があった。
- (6) 次回の技術委員会(放送分野)は、平成17年9月28日(水)午後2時から開催することになった。

^{*1} ARIBが事務局を務める任意団体(略称)

- ・電波環境協議会(EMCC)
- ・PHS MOUグループ
- ・ITS情報通信システム推進会議
- ・高速電力線通信推進協議会(PLC-J)
- ・DSRC普及促進検討会
- ・AAC調整連絡会
- ・ユビキタスネットワークワーキングフォーラム
- 電子タグ高度利活用部会 無線通信専門委員会
- ・光無線通信システム推進協議会(ICSA)
- ・マルチメディア移動アクセスフォーラム(MMAC)
- ・モバイルITフォーラム(mITF)
- ・ETS-VIII利用実験実施協議会
- ・IMO関連問題検討会

電気通信／放送 行政の動き

「ユビキタスネット時代における宇宙通信の在り方に関する研究会」 報告書の公表 (8月1日付総務省報道発表資料より)

総務省は、ユビキタスネット社会の形成に向けた宇宙通信の在り方について検討するため、平成17年4月15日（金）より「ユビキタスネット時代における宇宙通信の在り方に関する研究会」（座長：高畑文雄早稲田大学理工学部教授）を開催してきました。

このたび、本研究会において報告書が取りまとめられましたので公表します。将来のユビキタスネット時代では、地上系のネットワーク技術にはない宇宙通信独自の特性を活用することによって、防災、危機管理など、我が国が直面する諸課題の解決や、時空間情報基盤としての新たな社会サービスの創出が期待されています。

本研究会では、宇宙通信の特性を踏まえて、今後期待される宇宙通信の利用形態を整理し、その実現のため、5つの柱から構成される「ユビキタス・スペースネット・プログラム」が提言されています。

総務省では、本報告書の内容を踏まえ、ユビキタス・スペースネット・プログラムの実現に向けた検討を引き続き進めてまいります。

（添付資料）

- ・ユビキタスネット時代における宇宙通信の在り方に関する研究会
報告書概要(PDF)
- ・ユビキタスネット時代における宇宙通信の在り方に関する研究会
報告書(PDF)

詳細は、<http://www.soumu.go.jp/s-news/2005/050801_4.html>を参照ください。

<報告書概要から一部を抜粋>

※ 画像をクリックすると拡大表示します。

ユビキタスネット社会の実現のため、人類の安全・安心の確保、ユビキタスネット環境の享受、経済社会の発展など、様々な期待と役割を担う。以下の5つ柱を「ユビキタス・スペースネット・プログラム」として推進していくことが必要。

～どこでもブロードバンド～

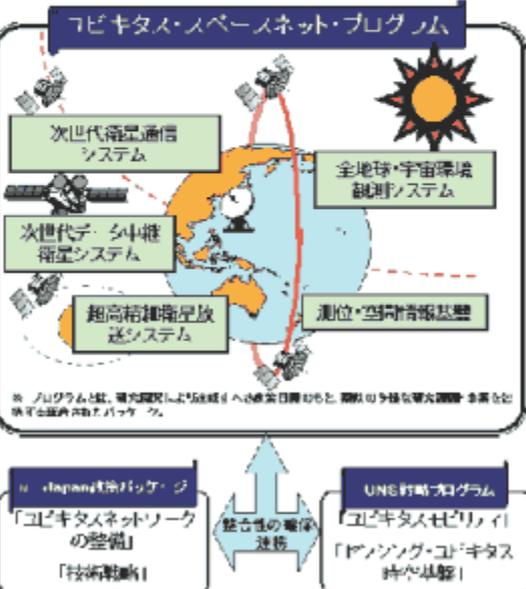
① 次世代衛星通信システム

一時と場所に依存せず、固定から移動までをカバーし、様々なアプリケーションを実現する衛星通信システム

○ 必要性:
災害対策や地理的デバイド対策など宇宙通信の活用により実現が期待される様々なアプリケーションを実現するための汎用的な役割を果たすシステムである。
地上系とのシームレスな通信環境を構築。

○ システムの活用事例:
・ブロードバンドサービス、地理的デバイド解消、災害対策、環境モニタ等を通信・放送で実現
・ブロードバンド環境を船舶・航空機・宇宙船等あらゆるところに提供
・極めて多数のセンサネットワーク端末を収容

○ システムの性能:
・10年後の地上系サービスと同程度の伝送速度
・携帯、PC等の自律端末が地上系・衛星系に共用可能
・低速から高速の様々な伝送速度でサービスを提供



欧州電気通信/
放送の動き

仏トゥルシュターシェイム市、WiMAXの実験を開始
【経済財政産業省コミュニケ,2005/07/20】

アルザス地域圏トゥルシュターシェイム市において、WiMaxによる高速インターネット接続の実験が開始された。7月22日には、フランソワ・ローズ産業担当相、同市市長、地域圏議会議長などが出席して開始式を開催。

実験では、送電塔をWiMAXの基地局として利用し、送電網に沿って敷設された光ファイバーを経由して高速インターネット・プロバイダーと接続。同市の代表的な10のユーザー（家庭、中小企業、公共サービスなど）に対して、1年間にわたり無料でインターネット接続、電話、テレビなどを提供し、その品質、伝送速度、安全性などを確認する。

仏CSA地上デジタル放送の新規8局を許可
【CSAコミュニケ,2005/07/20】

CSA（視聴覚最高評議会）は、7月19日に総会を招集し、新たに8局の地上デジタル放送サービスを許可した。新放送局は、無料局4局と有料局4局。

■無料局：

- BFM TV（経済ニュース）：ch.15
- Jeunesse TV（子供向け）：ch.8
- Europe 2 TV（音楽）：ch.17

-i-Tele（ニュース）：ch.16

なお、これら無料局は2005年9月1日から開始可能で、各局はその後³ヵ月以内に放送を開始しなければならない。

■有料局：

-Canal J（子供向け）

-Canal+Cinema（映画）

-Canal+Sport（スポーツ）

-Planete（ドキュメンタリー）

なお、これら有料局には、既に許可を取得済みの局と同様に、放送開始まで6ヵ月間の猶予が与えられるが、2005年9月からの実施が予定されている。

CSAは新規放送局の許可に併せ、無料放送局をマルチプレックスR2に、有料局をマルチプレックスR3にまとめることも決定。これにより、地上デジタル放送用の5つのマルチプレックスのうち、2つ（R1、R2）が無料局専用、1つ（R3）は有料局専用となる。CSAはまた、2006年春に19のサイト、秋には24のサイトをそれぞれ開設し、地上デジタル放送網の全国への展開を継続することを決定。これによりカバー率は住民の3分の2に達するとしている。

編集後記

ご存知のように、ARIBは異動の多い組織で、3ヶ月毎に実施される親睦会主催の歓送迎会を欠席すると「存じ上げていない方」が増えてしまいます。

そんなARIBで異動に縁がないのが総務部ですが、今年は違っています。

5月にも異動がありましたが、7月末には、福井さんが退職されました。私の前任者の言葉を借りると「爽やかにして闊達、さらに言えば、腰の位置が編集子の胴位にある」足の長い明るい(笑い声が大きい)方で、「書家」でもあるとのこと。9年勤務後の退職ということですから、ARIB10年のOBのほとんどの方がご存知のはず。中には隠れたファンもいらっしゃるのではないのでしょうか。7月最終金曜日に送別会が実施され多数の方が参加されましたが、涙のシーンも多々あった様です。

(K.K)